

地域分散型エネルギーで地方創生を推進

バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社

地元の未利用木材資源を活用する 木質バイオマス発電所を建設・運営

日本はエネルギーの8割以上を石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料に頼っており、そのほとんどを輸入している。東日本大震災以後、政府は再生可能エネルギー普及を推進してきたが、主力の太陽光発電は、夜間に発電できず、また天候に大きく左右されるなど課題も多い。

その中で、注目を集めているのが国内の未利用木材資源を燃料とし、24時間安定的に発電できる木質バイオマス発電だ。三重県松阪市で木質バイオマス発電所を建設、今年1月から商業運転を開始したバイオマスパワーテクノロジーズ株式会社の北角強社長は「木質バイオマス発電は安定した再生エネルギー。日本は『地下』資源に乏しいといわれているが、国土の7割を占める豊富な森林資源という

『地上』資源がある。これを活用することでエネルギー自給率を高めるとともに、新たな市場を創出することができると熱く語る。

バイオマスパワーテクノロジーズには北角氏が代表取締役を務める株式会社イ

オンリーワンに生きる

<115>



北角強社長

「当社が建設した木質バイオマス発電所は、未利用木材を余すことなく使って発電でき、既存の発電所や近隣の林業・素材生産事業者を支援する存在として大きな意義がある。現在全国で100カ所超の木質バイオマス発電所建設計画があるが、同様

国内初の40円／キロワットの再エネ固定買取価格適用

大阪ガスなど12社が出資

「当社が建設した木質バイオマス発電所は、未利用木材を余すことなく使って発電でき、既存の発電所や近隣の林業・素材生産事業者を支援する存在として大きな意義がある。現在全国で100カ所超の木質バイオマス発電所建設計画があるが、同様

林業のイノベーションにも挑戦



松阪市に建設した木質バイオマス発電所

「確かに都市部では難しいが、松阪市のような5〜15万人サイズの地域であれば、町などのコミュニティ単位でのエネルギーの自給自足は決して不可能なことではない。こうしたエネルギー源を一つでも多く作っていくことで、化石燃料に頼らない、新しい現実を地域から積み上げていく。ニッチ

「確かに都市部では難しいが、松阪市のような5〜15万人サイズの地域であれば、町などのコミュニティ単位でのエネルギーの自給自足は決して不可能なことではない。こうしたエネルギー源を一つでも多く作っていくことで、化石燃料に頼らない、新しい現実を地域から積み上げていく。ニッチ

見た目は普通のジャケット？
実は、襟と身頃が一体化の快適ウェア。

新発想の着用感をお試し下さい。

襟の形状保持
体感20%の軽量化
肩こり解消
洗濯が容易
省資源化

ビズラペル BizLapele

株式会社 サンリット産業

医療法人 敬生会 フジモト眼科

2017年手術実績 1106件

硝子体手術 涙道手術

院長 藤本 雅彦 部長 藤本 陽子 副部長 井石 涼

近鉄南大阪線針中野駅下車 高架沿い南へ徒歩約2分
大阪市東住吉区湯里 1-3-22

☎06-6704-5561 フジモト眼科 東住吉区 検索



太陽工業

シースルー太陽電池に写真画像を描いたモニユメント 様々なデザインへのニーズ開拓図る

「今完成した『モニユメント』は、縦横5m×5.1m、高さ3.76mの鉄骨造で、横浜の風景をアビールすると共に、電力を発生し、再生可能エネルギーの導入加速化に取り組み神奈川県庁の姿勢を誇れた市民に印象付ける狙いがある。

太陽工業は、世界に先駆けてシースルー太陽電池パネルの製品化に取り組み、1996年から販売を開始、従来の太陽電池パネルに備わった発電機能に加えて、光を透過する性質を活かし、各種公共施設や大型商業施設を中心に約200件の実績がある。

同社は「今後は、図柄や写真などの描写機能を加わったことで、デザイン性を活かした情報発信にも期待が高まると予想される。これらニーズをかにちにする中で、人々の潤いある暮らしに貢献したい」としている。

バイオマス利用した工業用保温・断熱材「ダイライト-E」発売

環境保全と優れた性能を両立

ダイライト-Eの製造工程

日本インシュレーション

耐火・断熱材メーカーの日本インシュレーション株式会社(大阪市、吉井智彦社長)はこのほど、もみ殻

「ダイライト-E」は、けい酸カルシウム、ゾノライトを基材とし、1000度の耐熱性を持ち、発電所や石油化学プラントなどの機器や配管の断熱に使用されている。製品規格はJISとASTM(米国試験材料協会)に対応。